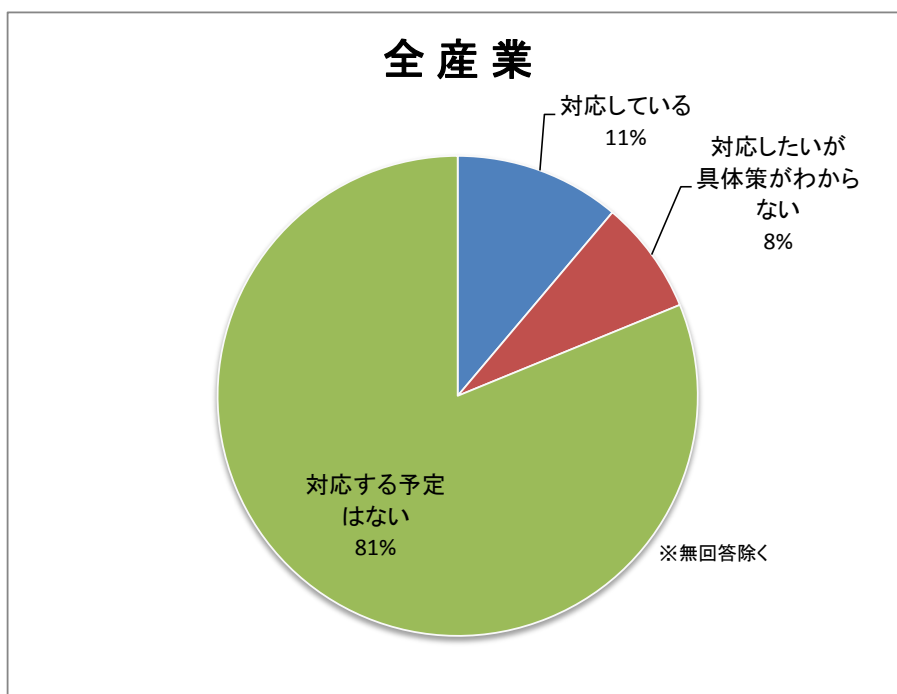


【回収状況】

	調査対象数	調査票回収数	回収率(%)
建設業	98	85	86.7
製造業	98	82	83.7
卸売業	98	79	80.6
小売業	97	74	76.3
サービス業	98	77	78.6
合計	489	397	81.2

(1) インバウンド需要獲得に向けた対応をしていますか。

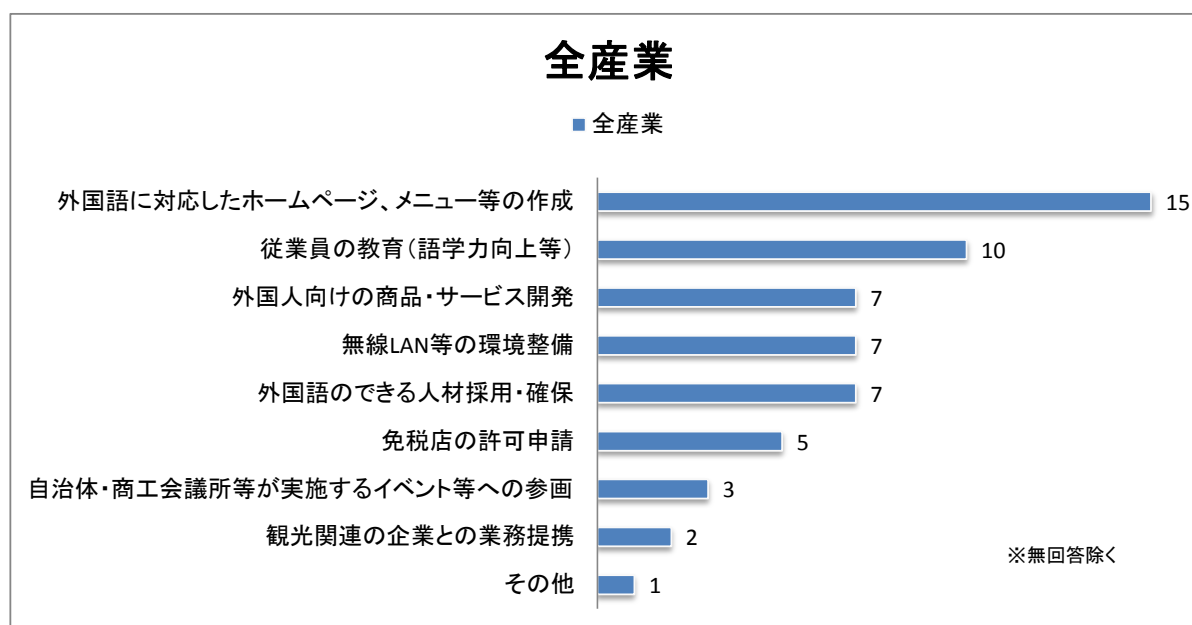
回答数	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
対応している	32	3	6	2	10	11
対応したいが 具体策がわからない	22	3	6	2	9	2
対応する予定はない	233	52	52	48	37	44
無回答	110	27	18	27	18	20
計	397	85	82	79	74	77



(2) (1)で「①対応している」と回答した方にお伺いいたします。

具体的にはどのような取組をされていますか。(複数選択可)

回答数	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
外国語のできる人材採用・確保	7	2	3	0	1	1
従業員の教育(語学力向上等)	10	0	4	1	1	4
外国語に対応したホームページ、メニュー、パンフレット等の作成	15	1	3	0	5	6
無線LAN等の環境整備	7	2	0	0	1	4
外国人向けの商品・サービス開発	7	1	1	1	2	2
免税店の許可申請	5	0	0	0	5	0
観光関連の企業との業務提携	2	0	0	0	0	2
自治体・商工会議所等が実施するイベント・プロモーション活動への参画	3	0	1	0	0	2
その他	1	1	0	0	0	0
無回答	361	80	76	77	64	64
計	418	87	88	79	79	85



【企業の声(抜粋)】

- インバウンドの影響より円高に期待。(食料・飲料卸売業)
- 消費者対応のイベントを市等の支援を受けて実施しているが、売上・利益につながるほどのボリュームになっていない。(食料・飲料卸売業)
- 観光客の増加は、直接的には影響なく、オリンピックの経済効果も当初の掛声よりも冷えている。(運輸附带サービス業)
- ヨーロッパの混乱、中国経済の減速を考えたとき、オリンピック開催前後は別として、そんなにインバウンドに期待できるものなのか。ヨーロッパが混乱しているからこそ、日本に足が向くのか、先が読めない。少しずつ対応してきたい。(専門料理店)